

現役高校生が回答！「生成 AI に関するアンケート」

学校や学習における使用シーンは、「総合的な探究の時間などの調べ学習」が 1 位

生成 AI からの回答は、「自分なりの解釈で情報を整えて使う」が 6 割超え

将来、生成 AI を活用する力が役立つと思う場面 1 位は「仕事での効率的な情報収集・整理」

株式会社リクルート（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：牛田圭一）が提供する進路情報メディア『スタディサプリ進路』は、スタディサプリ編集部の高校生エディターと公式 LINE 登録者を対象に“生成 AI”についてアンケートを実施致しました。結果、学校や学習における使用シーンは、「総合的な探究の時間などの調べ学習」が 1 位に。生成 AI からの回答の扱いは、「自分なりの解釈で情報を整えて使う」が 1 位で 6 割を超えました。また、将来、生成 AI を活用する力が役立つと思う場面の 1 位には「仕事での効率的な情報収集や整理」がランクイン。こちらのアンケートの詳細は『スタディサプリ進路』内の「#高校生なう」でお知らせしています。

URL：<https://shingakunet.com/journal/fromsapuri/20250903000003/?vos=scrmot00141>

■授業や学習関連での活用法は、リサーチや自習の時短が大勢

高校生に、学校や学習観点での生成 AI の使用シーンを聞くと、1 位「総合的な探究の時間などの調べ学習」、2 位「課題の自己採点や添削」、3 位「生成 AI を活用した教材やテスト問題の活用」となりました。リサーチや、自習のシーンで時短につながるような使い方をしているようです。また、生成 AI に質問をした時に返ってくる回答の扱いについては、「自分なりの解釈で情報を整えて使う」が 60.8%に。それに対し、「そのまま使う」と回答した人は、13.7%にとどまりました。

まだ現時点では、生成 AI による誤回答や誤情報を完全に防ぐことは難しいとされています。文部科学省による「初等中等教育段階における生成 AI の利活用に関するガイドライン」の中でも、その前提で、生徒が生成 AI の性質やメリット・デメリットを理解し、情報の真偽を確かめ、自ら判断して考えることが重要だと認識できるように学校現場が促すべきと記載があります。今回の結果を見ると、高校生が、学校で学ぶ生成 AI との付き合い方を理解した上で、良い距離感でうまく活用しているように感じられます。

Q. 学校および学習観点での使用シーンはどのようなものですか？

1位	総合的な探究の時間などの調べ学習	58.1%
2位	課題の自己採点や添削	42.2%
3位	生成AIを活用した教材やテスト問題の活用	26.1%

(複数回答/生成 AI を使ったことがある人 n=637)

Q. 生成 AI に何かを質問した時、回答はどう扱っていますか？

自分なりの解釈で情報を整えて使う 60.8%	自分で検索をして得た情報と比較してから使う 24.3%	そのまま使う 13.7%
使っていない 1.3%		

(単一回答/生成 AI を使ったことがある人 n=637)

■生成 AI を使えること自体が、将来的に強みになるとは思っていない

「生成 AI を使いこなす力は、将来どんな場面で役立つと思いますか？」と聞くと、上位は、「効率的な情報収集や整理」のほか、「違う視点を持つためのヒントを得るために使う」、また「資料の中での表現力を高めるために使う」といった、仕事での補助ツールのような活用方法をイメージしているようでした。一方で、「生成 AI を使えることで就職や進学に有利になると思う」のように、生成 AI を使えること自体が強みという考え方は少数の結果となりました。

Q. 生成 AI を使いこなす力は、将来どんな場面で役立つと思いますか？

1位	仕事で効率よく情報を集めたり、整理したりする時に役立つと思う	44.9%
2位	人と違う視点を持つためのヒントを得るのに役立つと思う	12.1%
3位	プレゼンや資料作成など、表現力を高める場面で役立つと思う	11.6%

(単一回答/n=688)

本件に関する
お問い合わせ先

<https://www.recruit.co.jp/support/form/>

■『スタディサプリ進路ブック』編集長 金剛寺千鶴子（こんごうじ ちづこ）コメント



テクノロジーの進化のなかで成長してきた高校生世代の生活になじみつつある生成 AI
生成 AI は思考や可能性を広げる協力者として認識している様子

今回のアンケートの中で、「生成 AI を使ったことがありますか？」と尋ねたところ、83.1%もの高校生が「はい（現在も使っている）」と回答しました。高校生にとってはすでに生成 AI は日常になじみつつあるツールとなっているようです。実際に、編集部で高校生に話を聞くと、「勉強で分からない箇所をアシストしてもらった」「何かを詳しく調べるために対話した」と、使う頻度や目的に個人差はありながらも、興味を持って活用している様子が伝わってきます。単に答えを得るためだけでなく、考える際のパートナーとして使い始めているようです。

また、アンケートで「生成 AI が進化した未来で、あなたの将来の夢はどう変わると思いますか？」と尋ねると、「生成 AI によって、夢がもっと実現しやすくなる」（24.3%）、「生成 AI と協力することで、夢の内容がより高度になる」（20.3%）の回答が上位に。生成 AI を自らの可能性を広げるための協力者として捉えているようです。一方で、「生成 AI にできないことを目指すようになる」（15.6%）も 3 位で、自身のキャリアを主体的に描こうとするたくましさのある人も。

さらに、「この先、生成 AI が進化した時に、あなたが最も『大切にしたいもの・こと』は何ですか？」に対しては、「人とのつながりやコミュニケーション」（29.9%）、「自分で考える力や創造力」（17.6%）、「感情や思いやりなど、人間らしさ」（10.6%）が上位を占めました。幼いころからテクノロジーの進化が当たり前だった世代だからこそ、その中での人間らしさの重要性を実感として認識しているのかもしれませんが、また、生成 AI を活用する上でもこれらが必要であると捉えている可能性もあります。

今回の調査を通じて、高校生たちは生成 AI という新しいテクノロジーを柔軟に受け入れて活用し、力強い味方として捉えようとしている様子がさまざまな問いの中からうかがえました。

Q. 生成 AI が進化した未来で、あなたの将来の夢はどう変わると思いますか？

1位	生成AIによって、夢がもっと実現しやすくなると思う	24.3%
2位	生成AIと協力することで、夢の内容がより高度になると思う	20.3%
3位	生成AIにできないことを目指すようになると思う	15.6%

（単一回答/ n = 688）

Q. 生成 AI が進化した時に、あなたが最も「大切にしたいもの・こと」は？

1位	人とのつながりやコミュニケーション	29.9%
2位	自分で考える力や創造力	17.6%
3位	感情や思いやりなど、人間らしさ	10.6%

（単一回答/ n = 688）

■アンケート概要

- ・ 調査期間：2025 年 7 月 21 日（月）～7 月 23 日（水）
- ・ 調査方法：インターネットリサーチ
- ・ 調査対象：全国高校生男女（『スタディサプリ進路』の高校生エディター／公式 LINE 登録者）
- ・ 有効回答数：688 人（男子 256 件、女子 422 件、回答しない 10 件）

■『スタディサプリー進路』について

『スタディサプリー進路』は、1970 年に創刊した『リクルート進学ブック』に始まり、2020 年に 50 周年を迎えた、リクルートグループにおいて就職支援に次いで歴史の長い事業です。“「学びたい」「学んでよかった」がもっと増えていく世界の実現”をコンセプトに、変化が激しい社会の中で生徒が生き抜くために、「なりたい自分」と「自己実現できる学校」を発見し、「自分に合った進路選択の実現」を可能にするためのサービスを提供しています。高校 3 年間を通して、「自己理解」「職業観育成」「学びの内容理解」「学校研究」に対応するさまざまな教材ラインアップを無料で提供しています。

(詳細：<https://shingakunet.com/rnet/column/rikunabi/index.html?vos=conttwnowother00010>)

■“スタサプ編集部”について

全国 3,000 人以上の現役高校生からなる「スタサプ高校生エディター」と共に、高校ライフにフィットするコンテンツを作る編集部。進路や受験勉強のノウハウはもちろん、夜食レシピやメンタルを支える名言などの多様なコンテンツを、Web サイト『#高校生なう』、年 8 回発行の情報誌『スタサプ進学マガジン』、アプリ『スタディサプリー for SCHOOL』、会員向けメールマガジン、各種 SNS で配信中。

なお、今回のアンケート結果をさらに詳しく分析した記事は『#高校生なう』の下記 URL にて公開中。

<URL：<https://shingakunet.com/journal/fromsapuri/202509030000003/?vos=scrnot00141>>

また、スタサプ編集部では、毎月 LINE でアンケートを配信し、読者の高校生・保護者の皆さまから頂くご意見を記事に反映しています。現在も、今後のより良い記事制作に向けて LINE お友だちを絶賛募集中です！ ご興味をお持ちの方は、ぜひご登録ください。

<LINE URL：<https://lin.ee/LbRvueT>>

リクルートグループについて

1960年の創業以来、リクルートグループは、就職・結婚・進学・住宅・自動車・旅行・飲食・美容などの領域において、一人ひとりのライフスタイルに応じたより最適な選択肢を提供してきました。現在、HRテクノロジー、人材派遣、マーケティング・マッチング・テクノロジーの3事業を軸に、60を超える国・地域で事業を展開しています。リクルートグループは、新しい価値の創造を通じ、社会からの期待に応え、一人ひとりが輝く豊かな世界の実現に向けて、より多くの『まだ、ここにはない、出会い。』を提供していきます。

詳しくはこちらをご覧ください。

リクルートグループ：<https://recruit-holdings.com/ja/> リクルート：<https://www.recruit.co.jp/>